Ⅳ. 添付書類

- 1. 訪問国の概要
- 2. 質問票
- 3. 質問票 (ロシア語版)
- 4. 質問票に対する回答
 - ①ウズベキスタン回答(英語翻訳版)
 - ②ウズベキスタン回答(ロシア語)
 - ③カザフスタン回答
- 5. Center for Economic Research での講義資料
- 6. ウズベキスタン・日本人材開発センターでの講義資料
- 7. セミナー出席者リスト
- 8. 調査期間中に提出した中間報告書

1. 訪問国の概要

	ウズベキスタン	カザフスタン
独立記念日	1991年8月31日	1991年12月16日
首都	タシケント	アスタナ
総人口	2, 470万人	1,484万人
面積	44.7万km ²	271.7万kmi
民族	ウズベク人(77%)	カザフ人(53.4%)
	ロシア人 (5.0%)	ロシア人 (30.0%)
<u> </u>	タジク人 (5.0%) 他	ウクライナ人(3.7%)他
宗教	ウズベク人の間ではイスラム教	カザフ人の間ではイスラム教
	スンニ派が優勢	スンニ派が優勢
政体	共和制	共和制
元首	カリモフ・イスフム・アフ ト ゥカ ニエワ ィッナ大統領	ナサ ルハ ーエフ・ヌルスルタン・アヒ シェウ イッナ 大統領
通貨	スム(1ドル=695スム)	テンゲ (1ドル=151.3テ ンゲ)
	2002年3月現在	2002年6月現在
主要産業	綿花生産、天然ガス、石油、金	鉱業、農業
国内総生産	152億ドル	176国ドル
(2002年現在)		
貿易	輸出 32.65億ドル	輸出 86.5億ドル
	輸入 29.47億ドル	輸入 63.6億ドル
経済技術協力	有償資金協力562.億円	有償資金協力888億円
(2000年までの累計)	無償資金協力 92億円	無償資金協力51億円
	技術協力実績 35億円	技術協力実績59億円



2. 質問票

QUESTIONNAIRE

Area Focused Course in Improvement in the Capability for Aid

at

Japan International Cooperation Agency (JICA)

and

Takushoku University

The present Questionnaire aims to obtain the preliminary basic information on your country to work out an agenda of Area Focused Course Improvement In the Capability for Aid that is taking place this year and will be annually held on the regular basis for five years.

We would like to express our gratitude to you for cooperation.

氏名:			
職名:			
所属先の住所:			
1/1 /P4/20 -2 11.// .	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
連絡先(電話、ファックス):		·	
E-mail アドレス			

- I. 候補者の選定プロセスに関して
- 1. GI の配布方法と配布先について教えて下さい。
- 2. 候補者の選考はどのような方法で実施され、優先順位を付してていますか。 (試験、面接、推薦、他)
- 3. GI 受け取りから候補者の選出にはどれぐらいの期間を要しますか。また現在何か問題はありますか。

4. 研修に参加した研修員に対しては、どのような課題を課してますか。 (報告会、レポート提出、等)

Ⅱ. 当該分野の関連省庁の概要

- 5. 援助受入を担当している省庁の業務分担はどのようになっておりますか。 各関連省庁の予算規模、人員配置、業務内容について教えて下さい。また、関連する 資料があれば、添付願います。
- 6. 国内で援助窓口担当者に対して何らかの研修を行っていますか。 あれば、対象者、期間、研修内容について教えて下さい。
- 7. 研修上問題があれば、教えて下さい。

Ⅲ. 本研修コースに関して(別添資料参照)

- 8. 当方で想定している研修内容、カリキュラムに関し、コメントをお願いします。 (希望する講義内容、見学等)
- 9. 本研修参加後、帰国研修員をどのように活用していきたいとお考えですか。

Ⅳ. その他

本研修コースでは、様々な講義を準備しております。研修プログラムを組む上で、現状、現在貴任国が抱えている問題、将来への方向性を事前に知っておくことは必要があります。つきましては、下記質問($10\sim21$)に関し、できる限りのお答えいただきますようお願いいたします。

- 10. 他のドナーの援助状況を教えて下さい。(関連する資料等あれば添付下さい。)
- 11. 日本において研修を希望する分野があれば、教えて下さい。
- 12. 1991年以降、生産や輸出入はどのように変化しましたか。
- 13. 国民の生活はどのように変化しましたか。
- 14. 評価すべき成果、課題を残した点があれば、教えて下さい。

- 15. 成功した政策があれば、具体的に教えて下さい。
- 16. 問題があったと思われる政策の例を挙げて下さい。
- 17. 社会主義時代の方が、良かったと思われる点があれば、教えて下さい。
- 18. 外国資本導入のプラス面とマイナス面を教えて下さい。
- 19. 戦後の日本は、外国援助を受入、活用し発展しました。日本からどのようなことを学びたいと思われますか。
- 20. 東南アジアの成長に関し、ご存じですか。
- 21. 中央アジアの将来についての意見をお聞かせ願います。

以上で協力ありがとうございました。

別添:本研修コースのプログラム概要

地域特設: 援助活用能力向上 Improvement in the Capability for using Aid (J02-20325)

Hachioji International Centre (HAIC), Japan International Cooperation Agency (JICA)

I. ESSENTIAL FACTS

DURATION February 4, 2003 – March 9, 2003 DEADLINE FOR APPLICATION December 4, 2002 *for acceptance in the JICA office or the Embassy of Japan NUMBER OF PARTICIPANTS 8 LANGUAGE 露語 TARGET GROUP 海外援助受け入れに関わる立案・実施、または国家の開発政策の立案・実施に従事している中政府の公務員に、(1) 国際社会から与えられた援助をどのように活用したか(2) 援助と経済政策一般をどのように組み合わせたか(3) 援助プロジェクト実施上のマネージメント、(4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される:22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識をを深める。(2) コースで得た知識をもとに、自国における援助活用の現状を分析し、より効		
#for acceptance in the JICA office or the Embassy of Japan NUMBER OF PARTICIPANTS 8 LANGUAGE		
NUMBER OF PARTICIPANTS 8 LANGUAGE 露語 TARGET GROUP 海外援助受け入れに関わる立案・実施、または国家の開発政策の立案・実施に従事している中央政府の公務員 COURSE OBJECT 援助に関わる立案・実施、または国家の開発政策の立案・実施に従事している中政府の公務員に、(1) 国際社会から与えられた援助をどのように活用したか(2) 援助と経済政策一般をどのように組み合わせたか(3) 援助プロジェクト実施上のマネージメント、(4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される:2. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を深める。		
TARGET GROUP	İ	
TARGET GROUP 海外援助受け入れに関わる立案・実施、または国家の開発政策の立案・実施に従している中央政府の公務員 援助に関わる立案・実施、または国家の開発政策の立案・実施に従事している中政府の公務員に、(1) 国際社会から与えられた援助をどのように活用したか(2) 援助と経済政策一般をどのように組み合わせたか(3) 援助プロジェクト実施上のマネージメント、(4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される:22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を深める。		
している中央政府の公務員 「後助に関わる立案・実施、または国家の開発政策の立案・実施に従事している中政府の公務員に、(1) 国際社会から与えられた援助をどのように活用したか(2) 援助と経済政策一般をどのように組み合わせたか(3) 援助プロジェクト実施上のマネージメント、(4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される:22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を深める。		
政府の公務員に、 (1) 国際社会から与えられた援助をどのように活用したか (2) 援助と経済政策一般をどのように組み合わせたか (3) 援助プロジェクト実施上のマネージメント、 (4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、 などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。 このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される: 22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を	事	
(2) 援助と経済政策一般をどのように組み合わせたか (3) 援助プロジェクト実施上のマネージメント、 (4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、 などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。 このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される: 22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を	央	
(3) 援助プロジェクト実施上のマネージメント、 (4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、 などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。 このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される: 22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を 深める。		
(4) 効果の評価分析手法と、その活用方法、などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される: 22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を 深める。		
などに関する講義と演習を行い、帰国してから自国の政策形成にあたってのヒンが得られるようにすることを目指すコースである。 このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される: 22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての識を 深める。	Ì	
が得られるようにすることを目指すコースである。 このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される: 22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての 識を 深める。		
このコースの受講により、研修員には以下のことが期待される: 22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての 識を 深める。	,	
22. 開発政策において海外援助を生産的・効率的に活用する方法についての 識を 深める。		
識を 深める。	Arn	
	'和	
的な援助活用の方法についてリサーチペーパーを書ける。	率	
このコースは、拓殖大学国際開発学部が中心となって行うが、JICA、JBIC、JETRO はもちろん、政府関係者や企業からの講師も招き、現実に密着したコースにする	1	
予定である		
TRAINING 拓殖大学国際開発学部		
INSTITUTION		
東京都八王子市館町 815-1		
Tel.: 0426-65-1441		
Fax.: 0426-65-1539	ŀ	
Accommodations 八王子国際研修センター(HAIC)		
Hachioji International Centre (HAIC)		
Address:2-31-2, Akatsuki-cho, Hachioji-shi, Tokyo, 192-0043, Japan Tel: 81-426(***)-26-5411, Fax: 81-426-26-9954		

II. CURRICULUM

目的	研修項目	内 容
援助の活用に必要な各種理論の整理	1. 国際援助論	・国際援助の役割、組織、形態、 実績について理解する。
	2. 経済発展と外国資本導入	・経済発展に果たす外国資本の役割 を理解する。
	3. 援助受入能力	・援助受入能力の意味とその増大 方法を検討する。
被援助国の経験を知る	1. 戦後日本の発展と援助	・戦後日本の被援助国としての経験・援助活用戦略を紹介する。
	2. 東南アジアの発展と援助	・東南アジア諸国がいかに援助を 活用し、経済成長を達成したか を紹介する。
	3. 移行国の経験	・市場経済移行経験を有する諸国 の援助活用経験を紹介する。
援助機関の理念と動向を理解する	1. 日本の援助	・日本の援助方針・戦略・動向を 紹介する。
	2. 世銀・IMF の援助	・世銀・IMF の援助方針・戦略・ 動向を紹介する。
· .	3. その他ドナーの援助	・USAID・UNDP等中央アジア諸国 の主要ドナーの援助方針・戦略・ 動向を紹介する。
自国の援助活用の能力を分析する	カントリーレポート発表	・参加研修員による自国の援助活用 状況・体制の発表
その他	1. プロジェクトサイクル マネージメント (PCM)	開発プロジェクトのマネージメントを演習を通して理解する
	2. 研修旅行	・日本の代表的企業、地場産業等 を訪問する。

III. Requirements for Application

資格要件

- (1) 海外援助受け入れに関わる立案・実施、または国家の開発政策の立案・実施に 従事している中央政府の中堅幹部
- (2) 当該分野に最低5年以上の実務経験を有する者
- (3) 大学卒業又は同等の学歴を有する者
- (4) 45歳以下の者
- (5) 指定期日までに、所定の手続を経て自国政府の推薦を受けた者
- (6) 研修に耐え得る精神力、身体的健康を有する者
- (7) 軍籍でない者

3. 質問票(ロシア語版)

AHKETA

Специальный учебный курс по «повышению способности использования помощи», ориентированный на определенные регионы и осуществляемый при Японском агентстве по международному сотрудничеству

(JICA)

университете «Такусёку»

Данная анкета ставит своей целью приобрести предварительную основную информацию по вашей стране с тем, чтобы разработать содержание учебного курса «по повышению способности использования помощи» для определенных регионов, который проводится в этом году и будет в дальнейшем проводиться ежегодно на регулярной основе в течение пяти лет.

Благодарим вас за содействие.

144 Total Control

I. Об отборочном процессе кандидатов

- 1. Каким способом распространялась «Общая информация» и по какому адресу?
- 2. В какой форме проводился отбор кандидатов (экзамен, интервью, рекомендация и т.д.)? При отборе имела ли место какая-либо приоритетность?

- 3. Сколько времени требуется, начиная с момента получения «Общей информации» и кончая отбором кандидатов? Существуют ли на данный момент какие-либо проблемы?
- 4. Какие задачи поставлены перед участниками учебного курса? (доклад на собрании, письменный доклад и др.)

II. Общие сведения о заинтересованных ведомствах, связанных с соответствующими сферами деятельности

- 5. Как распределяется работа в ведомствах, отвечающих за принятие помощи из-за рубежа? Напишите о масштабе бюджета, расстановке кадров и содержании работы в каждом заинтересованном ведомстве. Просим приложить материалы, связанные по содержанию с данной сферой деятельности, если у вас таковые имеются.
- 6. Проводятся ли какие-либо учебные курсы в вашей стране для лиц, отвечающих за принятие помощи из-за рубежа? Если проводятся, то напишите конкретно о том, на кого они ориентированы, о сроке проведения такого рода курсов и их содержании
- 7. Какие проблемы возникают в ходе проведения учебного курса?

Ш. О настоящем учебном курсе (Материал о нем прилагается)

8. Напишите, если у вас есть какие-либо замечания о содержании курсов, учебной программе курсов, планируемых нашей стороной. (Какие лекции вы хотели бы прослушать, какие места хотели бы посетить и т.п.)

9. Каким образом вы намерены использовать стажеров в своей стране после их возвращения со стажировки?
IV. Прочее
При проведении настоящего учебного курса планируется чтение лекций различного профиля. В процессе составления учебной программы нам необходимо заранее знать о проблемах, стоящих в настоящее время перед вашей страной, тенденциях развития в будущем. Исходя из этого, просим ответить на нижеприведенные вопросы (10–21) как можно подробнее в пределах вашей компетенции.
10. Какова ситуация с другими донорами? (Приложите материалы, связанные с этой темой, если таковые у вас имеются).
11. Есть ли особые темы, которые вы желали бы изучить при прохождении учебной стажировки в Японии?
12. Какие изменения имели место в сферах производства, экспорта и импорта?
13. Как изменилась жизнь населения?
14. Какие достижения следует оценить, какие проблемы остались нерешенными?
15. Какая политика успешно осуществилась? Напишите конкретно, если такого рода успех имел место.

16. Назовите конкретные примеры осуществления политики, сопровождавшейся проблемами.
17. Есть ли какие-либо аспекты, в которых социалистическая система превосходила ныне действующую? Если есть, напишите конкретно.
18. Назовите плюсы и минусы привлечения иностранного капитала.
19. Япония в послевоенный период принимала и активно использовала зарубежную помощь, что привело к успешному развитию экономики. Чему вы хотели бы научиться на базе опыта Японии?
20. Вы обладаете информацией об экономическом росте Юго-восточной Азии?
21. Напишите свое мнение о будущем Центральной Азии.
Благодарю за содействие.
Прилагается: общие сведения об учебной программе настоящего учебного курса.

СПЕЦИАЛЬНАЯ ПРОГРАММА ДЛЯ ОПРЕДЕЛЕННЫХ РЕГИОНОВ: «ПОВЫШЕНИЕ СПОСОБНОСТИ ИСПОЛЬЗОВАТЬ ПОМОЩЬ» (J02-20325)

Центр международного сотрудничества в Хатиодзи (HAIC) Японское агентство по международному сотрудничеству (JICA)

1. ОСНОВНЫЕ ФАКТЫ

НАЗВАНИЕ КУРСА (№)	Повышение способности использовать помощь (J02-20325)
СРОК ПРОВЕДЕНИЯ	4 февраля – 9 марта 2003 г.
СРОК ПОДАЧИ ЗАЯВОК	4 декабря 2002 г.
	* для сдачи в офис ЛСА или японское посольство
количество	8
УЧАСТНИКОВ	
язык	Русский
УЧАСТНИКИ ГРУППЫ	Государственные служащие центрального правительства,
}	занимающиеся составлением и осуществлением планов по
	использованию помощи в своих регионах или занимающиеся
	составлением и осуществлением государственной политики по
	развитию экономики
ПРЕДМЕТ КУРСА	В ходе данной учебной программы участникам курса,
	государственным служащим, занимающимся составлением и
	осуществлением планов по использованию помощи в своих
	регионах или занимающимся составлением и осуществлением
	государственной политики по развитию экономики, в ходе
	лекций и практических занятий будет предоставлена
	возможность обучаться следующему:
·	(1) Методы использования помощи, оказанной мировым
	сообществом;
	(2) Сочетание помощи с экономической политикой в целом;
	(3) Менеджмент при осуществлении проектов по содействию;
	(4) Приемы оценки и анализа результатов, и их применение
	Курс ставит целью то, чтобы стажеры получили полезные
	знания, которые они после возвращения на родину смогли бы
	использовать при разработке политики собственной страны.
	В ходе данной учебной программы ожидается, что участники:
	(1) приобретут и углубят знания о методах продуктивного и
	эффективного использования международной помощи при
	осуществлении политики по развитию экономики;
	(2) Научатся на основе приобретенных в ходе стажировки
	знаний анализировать текущее положение по
·	использованию помощи в своей стране, составлять проекты
	методов более эффективного использования помощи.
	Настоящий учебный курс будет проводиться в основном
	Факультетом по международному развитию экономики
	университета «Такусёку». В ходе стажировки
	предусматриваются лекции, читаемые представителями

	правительственных органов и предприятий, в том числе и представителями JICA (Японское агентство по международному сотрудничеству, JBIC (Японский банк международного сотрудничества), JETRO (Японская	
	внешнеторговая организация, что позволит стажерам подробно ознакомиться с реалиями японской экономики.	
ОРГАНИЗАЦИЯ, ПРОВОДЯЩАЯ ОБУЧЕНИЕ	Факультет международного развития экономики университета «Такусёку» Адрес: 815-1 Yakata-cho. Hachioji-shi, Tokyo, 193-0985, Japan Тел: 0426-65-1441 Факс: 0426-65-1539	
ПРОЖИВАНИЕ	Международный Центр Хатиодзи (HAIC) Насніојі International Centre (HAIC) Адрес: 2-31-2, Akatsuki-cho, Hachioji-shi, Tokyo, 192-0043, Јарап Тел.: 81–426(***)–26–5411 Факс: 81–426–26-9954	

ІІ. УЧЕБНАЯ ПРОГРАММА

Цель	Темы обучения	Краткое содержание
Извлечение сути различных теорий, необходимых для активного использования помощи	1. Теория международной помощи	• Понять роль, структуру организации, формы и реальные результаты международной помощи.
	2. Экономическое развитие и привлечение иностранного капитала	• Получить представление о роли иностранного капитала в развитии экономики страны
	3. Способность принимать и использовать помощь	• Рассмотреть значение способности принимать и использовать помощь, а также вопрос о методах по увеличению помощи
Изучать опыт стран, которым предоставляли помощь	1. Развитие Японии в послевоенный период и помощь	• Ознакомление с опытом Японии в послевоенный период как страны, получавшей международную помощь, и ее стратегией по активному использованию помощи
	2. Развитие Юго-восточной Азии и помощь	• Ознакомление с опытом стран Юго-восточной Азии: получить представление о том, как они активно использовали помощь и достигли уровня высокого экономического роста.
	3. Опыт стран по переходу к рыночной экономике.	 Ознакомление с опытом стран, переходивших к рыночной экономике, с упором на активное использование помощи
Понять концепции и тенденции эволюции органов, оказывающих помощь.	1. Помощь, оказываемая Японией	• Ознакомление с курсом Японии по содействию, его стратегией и тенденциями.
	2. Помощь Всемирного банка и МВФ.	• Дать представления о курсе по содействию, стратегии и тенденциях развития Всемирного банка и МВФ.
	3. Прочая помощь со стороны доноров	• Ознакомление с курсом, стратегией и тенденциями основных доноров на благо развития стран Центральной Азии, таких как USAID (Агентство США по международному развитию), UNDP (Программа развития ООН)

Анализировать способность своей страны эффективно использовать помощь	Представление стажерами отчетов о своих странах	• Презентации участников учебного курса на тему о реальном положении с активным использованием помощи в их странах, а также по системам использования помощи
Прочее	Управление процессом осуществления проекта (РСМ project cycle management) Учебные поездки и визиты	 Дать представление об управлении проектом по развитию экономики Визиты на представительные японские предприятия, местные предприятия и т.д.

III. ТРЕБОВАНИЯ К КАНДИДАТАМ

Кандидаты должны:

- (1) являться ведущими административными руководителями центрального правительства, в настоящее время занимающимися составлением и осуществлением планов по использованию помощи в своих регионах или же занимающимися составлением и осуществлением государственной политики по развитию экономики
- (2) обладать опытом практической работы не менее пяти (5) лет в вышеуказанной сфере
- (3) иметь высшее образование или образование, соответствующее по уровню высшему
- (4) быть в возрасте не более сорока пяти (45) лет
- (5) получить к назначенному сроку рекомендацию от своего правительства в соответствии с необходимыми формальностями
- (6) быть здоровыми как физически, так и умственно
- (7) не состоять на военной службе.

4. 質問票に対する回答

①ウズベキスタン回答(英語翻訳版)

The representative of Japanese International Cooperation Agency (JICA) in Uzbekistan

A reply to the letter written in 15.08.02 No 208.

The Ministry of Foreign Economic Relations expresses its respect to the representative of Japanese International Cooperation Agency (JICA) in Uzbekistan and has honour to forward a filled application concerning special teaching course called "Increasing the ability of using help".

At this point, the Ministry wishes to remind its respect to the Representative of JICA.

The Minister E. GANIEV

APPLICATION FORM

A Special teaching course concerning "increasing the ability of using help" which aims at only certain regions and fulfilled by Japanese International Cooperation Agency (JICA) and the University of Takushoku.

This application puts its aim at acquiring thorough basic information about your country in order to structure the contents of teaching course concerning "increasing the ability of using help" for certain regions that is held this year and will be held regularly every year for another five years. Thank you for your cooperation.

SURNAME AND NAME: KHABIBULLAEV SALOMBEK

POSITION: The Deputy of the Chairman of Main Governance of Analysis and Prospects of Foreign Economic Relations and the Head of Department of Foreign Economic Relations with Asian-Pacific Ocean region.

WORK ADDRESS: 1 Shevchenko street, Tashkent

TEL AND FAX: (99871) 1385013 fax: (99871) 13885200

Email address: s.khabibullaev@mfer.uz

O About selection process of candidates.

1. How has the general information been sent and where?

The general information which depends on the field of teaching course was sent to the appropriate Ministry or Department for the selection of candidates who match the requirements of this course.

2. In what form has the selection of candidates been made (e.i. exam, interview, recommendation and so on)?

After the selection has been made in the Ministries and Departments the proposals of candidates and their recommendations are sent to the MFER. Afterwards, from the recommended list of candidates MFER chooses the candidates who fulfill the criteria of the teaching course most. The priority is given to the candidates who fulfill the requirements of the teaching course.

3. How much time is required starting from receiving the general information and ending in selecting the candidates? Are there any problems at the moment?

This takes up to two weeks. The existing problems mainly concern the deadline limits.

4. What are the objectives for the candidates of this teaching course? (e.i. a report in the meeting, a written report and etc)

They are: written report on arrival with recommendations on using gained knowledge in practice.

o General information about interested Departments which are connected with appropriate fields of activities.

How is the work distributed in Departments, which are responsible for receiving help from abroad? Write about the scale of budget allocation of senior people and work order in any interested Department. Please attach materials that concern this field of activities, if you have any.

The Cabinet of Ministers of Uzbekistan is a coordinator of attracting and using foreign help.

The questionnaires are held regularly in the Ministries and Departments of the Republic regarding priority projects, which are supposed to be achieved by attracting foreign help. All received suggestions are summarized and classified according to their priority and need of maximum usage of foreign help.

The priority is given in the first place to the projects which have a significant role in socialeconomical and political development of the country which is not possible to carry out by commercial funding.

5. Are there any teaching courses held in your country for people who are responsible for receiving help from abroad? If they are held, then write about who they concern, about time limits of such courses and their contents.

There are not any systematic courses which are held for people who are responsible for receiving help from abroad.

- 6. What are the problems that arise in holding the teaching course?
- o About present teaching course (All materials are attached)
- 7. Write about whether you have any observations concerning contents of the courses, their teaching program which are being planned in our country. (What lectures would you like to listen and what places would you like to attend and etc.)?

Arranging attendance of JBIC, JICA, JETRO offices and other institutes which are involved in the current process for full acquaintance with their activities in carrying out policy in receiving help from abroad.

8. How are you planning to use people who receive seniority after their return?

These people after finishing the teaching course will be directly in the process of using help in their regions, Ministries and Departments. In addition, they will be involved in preparing applications for foreign help.

Various Information

There are various lectures in different fields which are being planned to be read during the present teaching course. In the process of structuring the program it is necessary for us to know about problems and ways of development in the future of your country at present. As a result, could you answer the question below (10-21) in as more detail as you can?

9. What is the situation with other donors? (Please attach materials concerning this matter if you have any)

Looking at the attachment: (Full information is in the 2001 Report about Cooperation In the Development published b the Department of Foreign Economic Relations and foreign investments o the Cabinet of Ministers of the Republic of Uzbekistan, Agency on Foreign Investments, UNDP

11. Are there any themes that you would like to learn while gaining your seniority in Japan?

They are: present sources of receiving help and sources of separate administrative-territorial parts of Japan (cities, counties) and various non-governmental organizations. Methods of marking and analyzing the results of attracting foreign help.

12. What changes have been made in the fields of production, export and import?

Uzbekistan economy in general has undergone the least decrease among other Soviet Union Republics; Statistics show that decrease in CIP was only 1.4% between years 1992-1996. Afterwards the country changed economic growth, starting from 1.6% of real increase of CIP in 1996.

Consequence of economic reforms, provision of stable increase of CIP in average 4-4.5% annually for five years gave 103% growth in 2001 when compared to 1991.

There are trade-economical relations with over 140 countries of the world. The scope of Foreign Trade has increased from 500 million US dollars to 6.4 billion in 2001. Also it is necessary to point out that such results were achieved when the price in the world markets for Uzbekistan products has dropped.

There is a significant change and expansion in the geography of foreign trade which wholly concerntrated on CIS countries in 1991. According to 2001 summaries Uzbekistan's foreign trade with Far West has increase up to 64.5%.

There is gradual liberalization of foreign trade regime and its adaptation to the norms of GATT/WTO by joining this organization.

Between 1991-2001 the Republic has accepted investment of over 12 billion US dollars and 2/3 are for the development of production fields. At present over 900 new types of products have been produced, over 2200 big and middle manufacture enterprises produce products for both internal and external markets.

13. How has population life changed?

According to results of year 2001 the speed of CIP increase on population was 103,1% and net profit of the population was 1% of CIP.

Strong social policy provided minimum unemployment among CIS countries at the rare of 0.4% from the working population.

14-15. Which achievements are noteworthy and which problems remain unresolved?

Please, write were there any cases of such success.

Main priorities of government policy in economical development include:

1. Reinforcing economical stability, liberalization of currency and trade policy, achievements of currency conversion according to current accounts.

Uzbekistan is successfully carrying out monitoring programs with IMF. Everything agreed in program were accepted and at present IMF is carrying out monitoring of stability and inevitability of accepted decisions and by the end of the year 2002 it is planned to sign a fully-scaled cooperation program with IMF.

- 2. Development of small and middle business with the aims of:
- a) increase of business and increase of population income;
- b) recycling local raw material resources, increase of value added in CIP, expansion of exportability and increase of budget incomes;
- c) forming the middle class of owners as a main social basis of democratic changes.

Between 1991 and 2001 the number of small and middle business (SMB) in CIP has grown from 1.5 to 34%. In this sector of SMB there are more than 53% of working people. Only in the year 2001 commercial banks provided the equivalent of 7.70 millions US dollars credit funds to this sector. Also, in order to improve this sector there have been attracted around 340 million US dollars of credit funds, along with 180 million from EBRD, 100 million from ABR, and 50 million from Aksimbank. It has been planned that by the end of the year 2002 another 216 million of foreign sources will be attracted.

3. Complex reformation of educational system with goal of creating new quality of human resources of the country, satisfying international standards and who play key factor in competition ability of Uzbekistan economy under the circumstances of globalization of economic development.

During independence years fundamentally new system of consistent education has been created. From 1867 professional colleges and academic lyceums 350 have already been launched. In Tashkent an International Westminster University was opened.

The Republic of Uzbekistan is significantly ahead if compared to other foreign states in funding educational needs, as in 2001 38 of governmental budget of Uzbekistan was for educational purposes.

Every year hundreds of representatives of talented Uzbek Youth are sent to study their Master Degree in the Universities of USA, Great Britain, Germany, France, Japan and etc by "Umid", the foundation of the president of Uzbekistan.

4. Privatization and development of private sector, creating a modern fund market in the process of program for dis-governmentalization and privatization it is planned to attract direct foreign investments into fields of economy and finance-banking sector that have priority.

74% of CIP is non-governmental while in manufacture it is 71%, in agriculture it is 99%. In non-governmental sector of Uzbekistan employment consists of 76% from all employment resources of the country.

At present by assistance of the World Bank a program of privatizing large enterprises has started which has a strategic importance for Uzbekistan's economy.

- 5. Development of information technology systems and provision of free access to Internet in order to:
- increase the quality of education in primary, secondary and higher educational systems;
- perfection of marketing system and increase of competition ability of Uzbek economy;

- increase of population awareness and its integration into global system of economical, cultural and other types of information.

A new type program of development of computerization and informational-communicational technologies has been accepted for 2002-2010 years which supposes:

- to build 1019 km long wool-optical highway lines and provide an access to modern communication systems to all parts of the country;
- to create more than 45 thousand of collective access to internet;
- to increase numbers of internet users from 1 from 10 to one from 11.9 and 1 family out of 100 to 1 out of 60;
- to provide internet access in 63% in all schools, 92% in academic lyceums, 85% in professional colleges and 100% in all Universities;
- improve former production of computer hardware, networking appliances and software by soft customs and excise regime;
- provide the preparation of teaching and specialists in the field of informational and computer technologies satisfying international standards.
- 16. Show obvious examples of completing the policy accompanied by problems.
- 17. Are there any aspects where socialistic system was better than the present one? If there are, please give examples.

None

18. Show all advantages and disadvantages of attracting foreign capital.

Attracting foreign investments helps to form new economical relations, to develop production, to increase wealth of citizens, to create a strong effect for progressive technologies, modern governance systems and organizing production, to move active attractions of local wealth which was not used before. Foreign investors not only invest into national enterprises, reconstruct them and technically restart them, but they also open an access to the world market of sell, which helps for economic entities to adapt for market relations, and also help to increase their product ability and financial-economic activity to the world standards.

The use of foreign investments assists to the development of economy and is a strong thrust for social-economic reforms.

19. Japan during postwar period actively used foreign help that resulted in the development of economy. What would you like to learn on the basis of Japanese experience?

Japanese experience in attracting investments and external help including attracting investments into fields of small and middle business.

20. Do you have any information about economic growth in South-East Asia?

Yes

21. Write your opinion about future of Central Asia.

There are hospitality traditions in Central Asia that date back to long times that were created by territorial integrity, similar ethnic origins, history, religion and population mentality.

Here work was distributed according to geographical position, wealth and diversity of natural and climate circumstances of the region. In the new industrial period which coincides with Soviet epoch, Central Asia received the development of communication and fundamental fields of economy which was an important condition for modern forms of economic cooperation with other states.

In the present historical circumstances when all states of Central Asia gained their sovereignty, it is necessary to do it in civilized way which satisfies accepted international norms.

On the other hand, it is in the interests of each country to increase the effectiveness of using common strength of the region. It is known from the world experience that economic integration of several countries allows to each of them to get additional, so called 'systematic effect' that cannot be achieved by countries that in economic relations apply only external trade.

Integration of the region's countries would allow to create for all countries-participants additional comparative privileges of economies and to have dynamical economic growth. These can be:

- 3 full self-provision of the region with all means of energetically, mineral and agricultural raw materials;
- 3 advantageous geo-political position in the centre between Russia and Europe on the one hand, and China, South-East Asia, India, Pakistan and Muslim countries of east on the other.
- 3 Mutual economic help, common ability of production allow by the means of cooperation and mutual investments to organize production of competitive products of high quality in a short period of time;
- 3 Employment resources, characterized by highly qualified and educational level and cheap work force;
- 3 Possibility of joint and more rational use of water and other natural resources and achieving ecological safety;
- 3 High scientific-technical capacity.

At the same time it is necessary to point out that foreign investors are more interested in united markets of countries of Central Asia rather than separate country.

Moreover, formation of area of Central Asian countries gives not only cooperation, economic advantages, use of common highways that connect Central Asia with external markets but it also makes it easier to have relations with strong external partners and international organizations as well as provides economic safety both for the whole region and for each of the country.

Review of external assistance to Uzbekistan Republic for the year 2001

3.1 overall indications

In 2001 overall sum of external assistance given, including privileged credits, grants and humanitarian help, was 433 million US dollars, while in the year 2000 it was 305 million US dollars.

In 2001 balance of credits, grants and humanitarian help has not changed significantly from 2000:

Credits were still the main form of given external help, but their share has reduced to 2.3%. Technical assistance and humanitarian help in overall volume increased appropriately to 0.5 and 1.8%, while the sum of given grants and humanitarian help increased significantly. External assistance, given to Uzbekistan in 2001 could be divided according to their forms as follows:

Credits make up the biggest part of 76.7%; Technical assistance (grants) made up 15.2% and humanitarian help-8.1%.

According to the given information overall volume of credits and grants was 1743.8 million US dollars in the end of 2001.

82.6% (4/5) of overall sum of credits and grants was provided by various sources, 14.8%-sponsored by two partners and 2.6%- by international organizations. In 2001 year multisided partners assistance was more than 328,6 million US dollars that is 2,6 times more than in the previous year. During year 2001 nine new agreements on partnership were made which aimed to develop various spheres of Republic's economy was for the sum of 313 million US dollars.

Among multisided donors in 2001 ABD has increased the sum of assistance to the Republic for 3,1 times (from 62.5 to 194,3 million US dollars), and provided by this 48,9% of overall volume of credits and grants given to the Republic and 59,1% of sum was given by multisided donors.

EBRD is on the second place with 83.1 million US dollars assistance, which has increased 5 times in comparison to previous years.

The sum of given assistance by IBRD in 2001 also increased compared to the year 2000 to 27% and was 37.8 million US dollars.

Although the overall volume of mutual financial and technical cooperation has decreased from 151.6 million US dollar in 2000 to 58.7 million, this help played a significant role in the development of the country's economy.

Japan was also among the biggest multisided donors based on the sums of credits and grants given in 2001.

Total sum of help given by Japanese Government, including JICA, JETRO and JBIC in December 31 2001 was about 267 million US dollars and 25.9 million US dollars of this sum was provided in 2001. Assistance of international non-governmental organizations was mainly in the form of humanitarian help. At the same time, UNDP provided grants for the sum of 10.5 million US dollars in the year 2001, which is 1.3 times more than in the previous year.

3.2 Main types of external assistance based on donors and countries

The overall sum of credits given in 2001 reached 331.8 million US dollars, the most of it 95.2% (316.1 million) was given my multisided organizations while only 4.8% (15.7 million) was given by mutualsided organizations.

Total sum of provided credits by December 31 2001 under current projects was 1523 million, 73.6% (1121 million) was given by multisided donors and 26.4% (402 million) by mutualsided donors.

According to the results of 2001 the biggest credits of Uzbekistan were international financial and economical organizations-ABR, EBRD and IBRD. The amount of ABD credits was 59.9% from the total amount of credits given under agreements made in 2001 and 22.2% under all other obligations by the end of the year.

Among projects suggested in the year 2001 the following projects were confirmed by ABD for financial assistance: 'Modernization of railways' (70 million US dollars), credit line to support the development of IBRD enterprises (50 million US dollars), 'Perfection of water provision to the cities of Gulistan, Jizzakh and Karshi' (36 million US dollars), "Support of infrastructure development and reconstructured economies of Aqaltin region" (36 million US dollars).

EBRD is in the second place with 25% of overall credits given in 2001, and provided 22.2% for other current obligations. EBRD provided 68 millions US dollars to accomplish projects of "Refresh of diesel locomotives park", "Uzbekistan railways" and 15 million US dollars were given to the project of "perfection of heating system of Andijan city".

IBRD is in the third place of overall credits given in 2001 that supported project of "Support of business development in agriculture" and gave 36.1 million US dollars.

Chinese Government also provided large amount of credits to buy gas meters for the amount of 15.7 million US dollars.

Overall sum of grants increased from 44.8 million US dollars in 2000 to 65.9 million US dollars in 2001, e.i. 47%. Large amount of them was given by mutualsided donors (65.3%), and 18.8-multusided organizations, 15.9%-non-governmental organizations.

The biggest grant giver was Japan which gave 25.9 million US dollar (40% of all grants) to accomplish projects like "Equipping the center of emergency with medical technologies", "Assistance in completing research in increasing production of agricultural products", "Support of human resources development", "Improvement of Heath Service in the regions that suffered from drought" and etc. (Look at chart 3.2.1)

The Institute of Open Society Assistance Foundation also gave equal amount of technical support (around 7%) in 2001 to Uzbekistan which helped to accomplish programs to develop citizen's society ("Development of economy and business"), ("Medicine and Health Service" and so on) and also different educational programs (Program for Youth "Higher Education", "Secondary Education" and etc) and Germany Bank KFV with 4.58 million US dollars that supported to accomplish projects "Development of reproductive Health Service" and "Prophylactics and cure of tuberculosis".

One of the most active partners in the field of technical assistance is Swiss Government which helped with 4.54 million US dollars. The biggest projects financed by Swiss Government was "Perfection of telecommunication system in Andijan" which was for 4.3 million US dollars.

German Society on Technical Cooperation provided 3.25 million US dollars in 2001 and it is in the fifth place with projects "Resource saving use of land", "Export Development Assistance", "Assistance in the field of first professional training" and "Support of creating teaching Bank".

UNDP provided 4.1% (2.7 million US dollars) from the overall amount of grants given in the year 2001 to Uzbekistan. UNDP supported programs of "Building Nurota-Qizilkum biosphere of national park as a model of keeping biological diversity", "Salvage of environment", "Development of stable income sources", "Development of human resources for challenges" and "Creating strength for stable development".

ABD's assistance in the year 2001 was 3.5% or 2.3 million US dollars. As a technical help ABD started the following projects: "Assistance in establishing strategy on increase living standard of population", "Support of institutional development of agriculture" and so on.

In 2001 there was growth of humanitarian help to the Republic. As it was already mentioned above it has increased 1.8 times and reached 35.3 million US dollars. In social sphere Health Service is the main receiver of humanitarian help. (Diagram 6)

In 2001 this sector received gear for over 22.3 million US dollars which is 1.6 times higher then in 2000. The second place for humanitarian help was social insurance sector (23.1%) and the third-education (12.8%).

From overall humanitarian help international non-governmental organization provided 45.7% of help (16.1 million US dollars). Classification of amount of humanitarian help received in 2001 (chart 3.2.2) shows that 23.7% of humanitarian gear was provided by Counterpart International. In the second place Germany Government (9.4%) and in the third- "From heart to heart" organization (9.1%).

Among other donor organizations large amount of humanitarian help were granted by Americase, World Concern, International Red Cross, UN institutes (UNICEF, UNFPA) and USAID.

Humanitarian luggage were mainly in the forms of:

- medical supplies (including medical equipment and medical appliances, medicines and antidotes)-69.6.%;
- food supplies and clothes-14.7%;
- equipment (computer, laboratory equipment, furniture)-9.5%;
- children's goods (school goods, children's toys, books)-5.2%.

3.3 External assistance (credits and grants) in the fields of economy

In 2001 transport sector was the biggest field to receive external help as it received 143 million US dollars or 36.2% of overall external assistance which increase 2.1 times compared to the year 2000. It is necessary to point out that the biggest donors in transport sector were ABD and EBRD with projects "Modernization of railways", and "Refresh of diesel locomotive park GAJK "Uzbekiston Temir Yollari" which were dedicated to the development of railway transport of the Republic.

Second largest sector of economy that received assistance (grants and credits) was agriculture that got investment for over 85 million US dollars. Big projects in this sector are made under support of ABD which are dedicated to the development of infrastructure and reconstruction of economies of Aqaltin region while IBRD helps to support development of business in rural places.

Social sector (including "residence, social insurance and communal services") which was given 75 million US dollars is also within three largest receivers of external assistance. The main donors of this sector were ABD, EBRD and Chinese Government.

In the last years development of small and middle business was one of the priorities of government, that resulted in increase of project numbers in this field accomplished by credit and grant means of international donor organizations. Consequently, "Enterprise and manufacture" sector similar to the previous years is the biggest recipient that received 53.9 million US dollars in 2001.

National Health Service in 2000-2001 was stable in receiving grant and credit means, giving further attention to the problems reproductive health service, support of maternity and

childhood. Among the biggest projects of this sector it is necessary to point out that there are projects like equipping medical centre with medical equipment, improvement of health service system suffered from drought and infertility which were supported by JICA and also project for development of reproductive health service and cure of tuberculosis under support of Germany Bank KFV.

Overall sum of received technical and financial assistance in the health service field in 2001 was 16.3 million US dollars and together with accepted humanitarian help the amount was 38.6 million US dollars.

Although sector of "Education and science" according to accepted grants and credits in 2001 dropped from the first place to the sixth, majority of projects in this field are achieved as a National Program for preparing educated population.

Between years 2000-2001 180.7 million US dollars were spent to support of education and science which was provided by JBIC, ABD, Korean Foundation of Economic Development Cooperation, JICA, and UNICEF.

In "Preserving environment" sector external assistance is mainly given by non-governmental organizations and devoted to the region of Aral Sea, including Karakalpakistan Republic and Khorezm Region for liquidation of the results of infertility and drought and also preserving biological diversity in this region. In years 2000-2001 the amount of assistance in grants was 3.9 million US dollars. Main donors were UNDP, UNEP and IBRD.

Talking about distribution of external assistance for administrative territories, it is necessary to highlight that the main assistance does not concentrate in one or other region of the country but is distributed to the whole territory of Uzbekistan. (Diagram 9) If in year 2000 projects of State interests accepted 55.1% of external assistance, in 2001 this was 59.8%.

The capital of the Republic, Tashkent city is still the biggest recipient of external assistance which amounted to over 98.4 million US dollars in 2001.

Among other regions of the Republic the other biggest projects were accomplished in Jizzakh and Andijan regions. (Diagram 9)

②ウズベキスタン回答(ロシア語)

O'ZBEKISTON RESPUBLIKASI

TASHQI IQTISODIY

ALOQALAR VAZIRLIGI



MINISTRY OF FOREIGN

ECONOMIC RELATIONS OF

THE REPUBLIC OF UZBEKISTAN

700029, TOSHKENT, SHEVCHENKO KOʻCHASI,1-UY

TEL: 138-50-00, 138-51-23, FAKS: 139-17-51, 138-52-00 E-mail: Secretary@mfer.uz http://www.mfer.uz

No DT-01/16-3529 " 26.08 20024.

Представительство Японского агентства международного сотрудничества (JICA) в Республике Узбекистан

Ответ на письмо от 15.08.02 г. №208

Министерство внешних экономических связей свидетельствует свое уважение представительству Японского агентства международного сотрудничества (JICA) в Республике Узбекистан и имеет честь направить заполненную анкету по специальному учебному курсу «Повышение способности использования помощи».

Министерство пользуется случаем, чтобы возобновить Представительству JICA уверения в своем уважении.

Министр

Э.Ганиев

AHKETA

Специальный учебный курс

по «повышению способности использования помощи», ориентированный на определенные регионы и осуществляемый при Японском агентстве по международному сотрудничеству (JICA)

и университете «Такусёку»

Данная анкета ставит своей целью приобрести предварительную основную информацию по вашей стране с тем, чтобы разработать содержание учебного курса «по повышению способности использования помощи» для определенных регионов, который проводится в этом году и будет в дальнейшем проводиться ежегодно на регулярной основе в течение пяти лет. Благодарим вас за содействие.

Фамилия и имя	Хабибуллаев Саломбек
Должность:	Заместитель начальника главного управления анализа
	<u>нешних экономических связей, Начальник управления внешни: х связей со странами Азиатско-Тихоокеанского региона</u>
Рабочий адрес:	г.Ташкент, Шевченко 1
Телефон и факс	: (998 71) 1385013 факс (998 71) 1385200
Адрес электронн	ной почты: <i>s.khabibullaev@mfer.uz</i>

- □. Об отборочном процессе кандидатов
- 1. Каким способом распространялась «Общая информация» и по какому адресу?

Общая информация в зависимости от профиля учебного курса направляется в соответствующее министерство или ведомство для проведения отбора кандидатур, отвечающих требованиям данного курса.

2. В какой форме проводился отбор кандидатов (экзамен, интервью, рекомендация и т.д.)? При отборе имела ли место какая-либо приоритетность?

После отбора кандидатур в министерствах и ведомствах, предложения по кандидатурам вместе с рекомендательным письмом направляются в МВЭС. Далее МВЭС из числа рекомендованных кандидатур отбирает тех, кто наиболее полно отвечает требованиям учебного курса. Приоритетность отдается кандидатам, наиболее отвечающим требованиям учебного курса.

3. Сколько времени требуется, начиная с момента получения «Общей информации» и кончая отбором кандидатов? Существуют ли на данный момент какие-либо проблемы?

До двух недель. Имеющиеся проблемы в основном связаны со сжатостью сроков.

4. Какие задачи поставлены перед участниками учебного курса? (доклад на собрании, письменный доклад и др.)

Письменный отчет по прибытии с рекомендациями по использованию на практике полученных знаний.

□. Общие сведения о заинтересованных ведомствах, связанных с соответствующими сферами деятельности

5. Как распределяется работа в ведомствах, отвечающих за принятие помощи из-за рубежа? Напишите о масштабе бюджета, расстановке кадров и содержании работы в каждом заинтересованном ведомстве. Просим приложить материалы, связанные по содержанию с данной сферой деятельности, если у вас таковые имеются.

Координатором привлечения и использования иностранной помощи является Кабинет Министров Республики Узбекистан.

На регулярной основе проводится опрос министерств и ведомств республики о приоритетных проектах, реализация которых предполагается за счет привлечения иностранной помощи. Полученные предложения обобщаются и классифицируются с учетом приоритетности и необходимости максимально эффективного использования привлекаемой помощи.

Приоритет в первую очередь отдается проектам, имеющим большое значение для социально-экономического и политического развития страны, реализация которых за счет коммерческого финансирования не представляется возможной.

6. Проводятся ли какие-либо учебные курсы в вашей стране для лиц, отвечающих за принятие помощи из-за рубежа? Если проводятся, то напишите конкретно о том, на кого они ориентированы, о сроке проведения такого рода курсов и их содержании

Учебных курсов для лиц, вовлеченных в деятельность по привлечению помощи из-за рубежа, на системной основе не проводиться.

7.	Какие проблемы возникают в ходе проведения учебного курса?	

□. О настоящем учебном курсе (Материал о нем прилагается)

8. Напишите, если у вас есть какие-либо замечания о содержании курсов, учебной программе курсов, планируемых нашей стороной. (Какие лекции вы хотели бы прослушать, какие места хотели бы посетить и т.п.)

Предусмотреть посещение офисов JBIC, JICA, JETRO и других вовлеченных в данный процесс институтов для более полного ознакомления с их деятельностью в осуществлении политики по оказанию внешней помощи.

9. Каким образом вы намерены использовать стажеров в своей стране после их возвращения со стажировки?

Данные стажеры по окончании учебного курса будут вовлечены непосредственно в работу по использованию помощи в своих регионах, министерствах и ведомствах. Также они будут привлекаться при составлении заявок по оказанию внешней помощи.

□. Прочее

При проведении настоящего учебного курса планируется чтение лекций различного профиля. В процессе составления учебной программы нам необходимо заранее знать о проблемах, стоящих в настоящее время перед вашей страной, тенденциях развития в будущем. Исходя из этого, просим ответить на нижеприведенные вопросы (10–21) как можно подробнее в пределах вашей компетенции.

10. Какова ситуация с другими донорами? (Приложите материалы, связанные с этой темой, если таковые у вас имеются).

См. Приложение (Полная информация содержится в Отчете о сотрудничестве по развитию, 2001 год. Изд. Департамент внешнеэкономических связей и иностранных инвестиций Кабинета Министров Республики Узбекистан, Агентство по иностранным инвестициям, ПРООН)

11. Есть ли особые темы, которые вы желали бы изучить при прохождении учебной стажировки в Японии?

Имеющиеся источники получения помощи, в том числе ресурсы отдельных административно-территориальных образований Японии (городов, префектур) и различных неправительственных организаций.
Методы оценки и анализа результатов привлечения внешней помощи.

12. Какие изменения имели место в сферах производства, экспорта и импорта?

Экономика Узбекистана в целом пережила самый маленький спад среди республик бывшего Советского Союза: статистика показывает, что спад ВВП составил только 14% между 1992 и 1996 годами. Затем страна вступила на путь неуклонного экономического роста, начиная с 1,6% реального роста ВВП в 1996 году.

Последовательность экономических реформ, обеспечение в последние пять лет стабильного роста ВВП в среднем на 4-4,5% в год, позволили по итогам 2001 года достигнуть роста ВВП против дореформенного уровня 1991 года — 103 процента.

Установлены торгово-экономические отношения более чем со 140 странами мира. Объемы внешнеторгового оборота возросли с 500 млн. долл. США в 1991 году до 6,4 млрд. долл. США в 2001 году. При этом, необходимо подчеркнуть, что данные результаты достигнуты на фоне значительного падения цен на мировых рынках на основные экспортные товары Узбекистана.

Существенно изменилась и расширилась география внешней торговли, которая в 1991 году была практически полностью ориентирована на страны СНГ. По итогам 2001 года удельный вес стран дальнего зарубежья во внешней торговле Узбекистана возрос до 64,3% от всего объема.

Проводится поэтапная либерализация внешнеторгового режима и его адаптация к нормам ГАТТ/ВТО в контексте вступления в эту организацию.

За 1991-2001 годы в республике было освоено иностранных инвестиций, более чем на 12 млрд, долл. США, из которых свыше 2/3 направлено на развитие производственных отраслей. В настоящее время освоено производство более 900 новых видов продукции. Свыше 2200 крупных и средних промышленных предприятий выпускают продукцию для внутреннего и внешнего рынков.

13. Как изменилась жизнь населения?

По итогам 2001 года темп роста ВВП на душу населения составил 103,1 процента, а реальные доходы населения увеличились на 16,9 процента.

Дефицит государственного бюджета в последние 3 года не превышал 3% к ВВП, а по итогам 2001 года составил 1% от ВВП.

Сильная социальная политика обеспечила минимальный среди стран СНГ уровень безработицы на уровне 0,4% от общего числа трудоспособного населения.

14-15. Какие достижения следует оценить, какие проблемы остались нерешенными? Какая политика успешно осуществилась? Напишите конкретно, если такого рода успех имел место.

Основные приоритеты государственной политики экономического развития включают:

1. Углубление макроэкономической стабильности, либерализация валютной и торговой политики, достижение конвертируемости по текущим счетам.

Узбекистан успешно завершает реализацию программы мониторинга совместно с МВФ. Все меры, согласованные в программе, приняты и в настоящее время МВФ осуществляет мониторинг устойчивости и необратимости реализации принятых мер, до конца года планируется подписание полномасштабной программы сотрудничества с МВФ.

- 2. Развитие малого и среднего бизнеса имеющее целью:
- рост занятости и повышения доходов населения;
- переработку местных сырьевых ресурсов, рост добавленной стоимости к ВВП, расширение экспортного потенциала и увеличение бюджетных поступлений;
- формирование среднего класса собственников как основной социальной базы демократических преобразований.

В период с 1991 по 2001 гг. доля малого и среднего бизнеса (МСБ) в ВВП выросла с 1,5 до 34 процентов. В секторе МСБ сегодня занято более 53 процентов трудовых ресурсов, Только в 2001 году в сектор МСБ коммерческими банками страны было направлено кредитных ресурсов эквивалентных 770 млн. долл. США. Вместе с тем, в целях развития данного сектора экономики привлечено из зарубежа около 340 млн. долл. США кредитных ресурсов, в том числе со стороны ЕБРР - 180 млн. долл., АБР - 100 млн. долл., Эксимбанка США - 50 млн. долл. До конца 2002 года предполагается дополнительное привлечение из внешних источников ещё 216 млн. долл. США.

3. Комплексная реформа системы образования, направленная на создание нового качества человеческих ресурсов страны, отвечающих международным стандартам и являющихся ключевым фактором повышения конкурентоспособности экономики Узбекистана в условиях глобализации

III. Обзор внешнего содействия Республике Узбекистан за 2001 год

3.1. Общая оценка

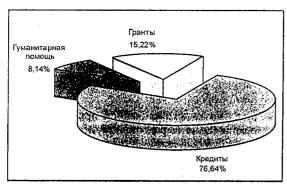
Общая сумма предоставленного в 2001 году внешнего содействия, включая льготные кредиты, гранты и гуманитарную помощь, составила 433 млн. долл. США, в то время как этот же показатель в 2000 году составлял 305 млн. долл. США.

В 2001 году соотношение кредитов, грантов и гуманитарной помощи по сравнению с 2000 годом изменилось незначительно: по прежнему кредиты являлись определяющей формой предоставления внешней помощи, хотя их доля уменьшилась на 2,3%. Техническое содействие и гуманитарная помощь в общем объеме содействия возросли соответственно на 0,5 и 1,8%, при этом номинальные суммы предоставленной грантовой и гуманитарной помощи увеличились значительно. 1

днешнее содействие, оказанное республике в 2001 году по типам предоставления, распределяется следующим образом:

наибольшая часть – 76,7% приходится на кредиты; техническое содействие (гранты) составило 15,2%, соответственно гуманитарная помощь – 8,1%.

Диаграмма 1 Внешнее содействие по видам, 2001 г.



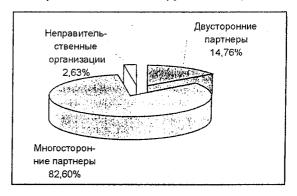
Исходя из информации БДКУВС, на конец 2001 года общий объем действующих кредитов и грантов составил 1743,8 млн. долл. США.

Из общей суммы кредитов и грантов более 4/5 (82,6%) обеспечивалось многосторонними источниками, 14,8% - двусторонними партнерами и 2,6% - международными неправительственными организациями.

Многосторонние партнеры в 2001 году оказали содействие на сумму более 328,6 млн. долл. США, что почти в 2,6 раза больше, чем в предыдущем году.

За 2001 год было заключено 9 новых соглашений о сотрудничестве с целью развития различных сфер экономики республики на сумму 313 млн. долл. США.

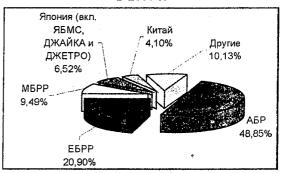
Диаграмма 2 Распределение предоставленных кредитов и грантов за 2001 г. по группам доноров



Среди многосторонних доноров в 2001 году АБР увеличил сумму оказываемого республике содействия в 3,1 раза (с 62,5 до 194,3 млн. дол. США), обеспечив практически половину (48,9%) всего объема выделенных республике кредитов и грантов и 59,1% суммы, предоставленной многосторонними донорами.

На втором месте находится ЕБРР, оказавший в 2001 году содействие на сумму 83,1 млн. доля. США, которая возросла в 5 раз по сравнению с предыдущим годом.

Диаграмма 3 Пять крупнейших доноров по объёмам предоставленных кредитов и грантов в 2001 г.



¹ Информация о проектах, включенных в БДКУВС приведена в Таблице 2 «Сводный перечень кредитов и грантов» Приложения А данного отчета.

Таблица 3.1.1. Пятерка крупнейших доноров по объемам предоставленных кредитов и грантов в 2001 г.

3,9%		2000 r.			00 r.t.
Nº	-Донор 1 тріі така	Сумма (тыс.долл.США)	Доля в общем объеме внешнего содействия (%)	Сумма (тыс долл США)	Доля в общем объеме внешнего содействия (%)
1	АБР	194 300	48,85	62 470	21,88
2	E6PP	83 127	20,90	15 485	5,42
3	МБРР	37 757	9,49	29 640	10,38
4	Япония (вкл. ЯБМС, ДЖАЙКА и ДЖЕТРО)	25 941	6,52	73 053	25,59
5	Китай	16 304	4,10	625	0,22
	Другие	40 302	10,13	104 158	36,50
итог	O:	397 731.	100,00	.285 431	100,00

Сумма оказанной помощи со стороны МБРР в 2001 ду также возросла по сравнению с 2000 году на 27% и составила 37,8 млн.долл.США.

Хотя общий объем <u>двустороннего</u> финансового и технического содействия сократился с 151,6 млн. долл. США в 2000 году до 58,7 млн.долл.США в 2001 году, данная помощь сыграла значительную роль в развитии экономики страны.

Среди крупнейших двусторонних доноров по сумме предоставленных в 2001 году кредитов и грантов в 2000 – 2001 годы была Япония. Общая сумма

оказанной помощи со стороны Правительства Японии, включая ЯБМС, ДЖАЙКА и ДЖЕТРО по состоянию на 31 декабря 2001 года составила около 267 млн. долл. США, из которых 25,9 млн. долл. США было предоставлено в 2001 году.

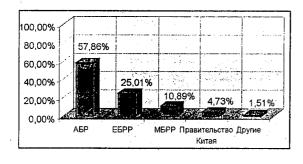
Содействие со стороны международных неправительственных организаций, главным образом, было оказано в виде гуманитарной помощи. В то же время, НГЮ предоставили в 2001 г. гранты на сумму 10,5 млн. долл. США, что в 1,3 раза больше, чем в предыдущем году.

3.2. Основные виды внешнего содействия по донорам и странам

Общая сумма кредитов, предоставленных в 2001 году, достигла 331,8 млн. долл. США, из них подавляющая часть 95,2% (316,1 млн. долл. США) приходится на многосторонние и 4,8% (15,7 млн. долл. США) — на двусторонние донорские организации.

щая сумма выделенных кредитов на 31 декабря 2001 года по действующим проектам составила 1523 млн. долл. США, из них 73,6% (1121 млн. долл. США) выданы многосторонними донорами и 26,4% (402 млн. долл. США)- двусторонними.

Диаграмма 4 Крупнейшие доноры-кредиторы в 2001 г.



Крупнейшими кредиторами в Узбекистане по итогам 2001 года являлись международные финансовые и экономические организации - АБР, ЕБРР и МБРР. На долю АБР приходится 57.9% от общего объема кредитных средств по соглашениям, заключенным в 2001 году, и 22,2% по всем действующим обязательствам на конец 2001 года. Среди проектов 2001 года, одобренных к реализации при финансовом содействии АБР, следует отметить проекты: "Модернизация железных дорог" (70 млн.долл.США), кредитная линия на поддержку развития предприятий МСБ (50 млн.долл.США), "Совершенствование системы водоснабжения городов Гулистан, Джизак, Карши" (36 млн.долл.США), "Поддержка развития инфраструктуры, а также реструктуризированных хозяйств Акалтынского района" (36 млн.долл.США). ЕБРР занимает второе место с долей 25% по кредитам, выделенным в 2001 году и 22,2% по всем действующим обязательствам. Со стороны ЕБРР в отчетном году было выделено 68 млн. долл. США на реализацию проекта "Обновление парка дизельных локомотивов" ГАЖК "Узбекистон темир йуллари" и 15 млн. долл.США на проект «Совершенствование системы теплоснабжения г.Андижана».

Отчет о сотрудничестве по развитию за 2001 год

На третьем месте по объему кредитов, выделенных в 2001 году – МБРР с проектом "Поддержка развития предпринимательства в сельской местности" на сумму 36,1 млн. долл. США.

Крупные кредиты были также предоставлены Правительством Китая на приобретение приборов учета газа на сумму 15,7 млн.долл. США.

Общая сумма <u>грантов</u> возросла с 44,8 млн. долл. США в 2000 году до 65,9 млн. долл. США в 2001 году, т.е. на 47%. Из них большая часть (65,3%) приходится на двусторонних доноров, 18,8% - многосторонние организации и соответственно 15,9% на неправительственные организации.

(Молодежная программа, «Высшее образование», «Среднее образование» и др.) и Германский банк КфВ (4,58 млн.долл. США), при поддержке которого были реализованы проекты "Развитие системы репродуктивного здравоохранения" и "Профилактика и лечение туберкулеза".

Одним из активных партнеров в сфере технического сотрудничества является Правительство Швейцарии, оказавшее помощь в размере 4,54 млн. долл. США. Самым крупным среди финансируемых Правительством Швейцарии проектов является "Совершенствование системы теплоснабжения в Андижане" на сумму 4,3 млн. долл. США.

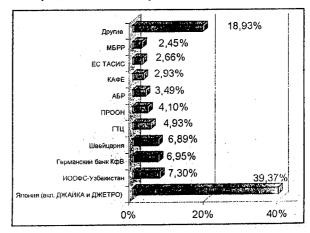
Таблица 3.2.1. Десять крупнейших доноров по объемам предоставленной грантовой помощи в 2001 г.

		2001 г.		2000 r.	
Nº	Донор	Сумма (тыс.долл.США)	Доля в общем объеме грантов (%).	Сумма (тыс.долл.США)	Доля в общем объеме грантов (%)
1	Япония (вкл. ДЖАЙКА и ДЖЕТРО)	25 941	39,37	14 208	31,70
2	ИООФС-Узбекистан	4 808	7,30	5 266	11,75
3	Германский банк КфВ	4 577	6,95	0	0,00
4	Швейцария	4 539	6,89	355	0,79
5	ГТЦ	3 250	4,93	2	0,00
6	ПРООН	2 705	4,10	684	1,53
7	АБР	2 300	3,49	5 470	12,20
8	Безвозмездная помощь Центральной Азии	1 933	2,93	1 028	2,29
9	EC TACUC	1 755	2,66	3 567	7,96
10	МБРР	1 617	2,45	640	1,43
	Другие	12 471	18,93	13 583	30,35
N.	гого:	65 896	100,00	44 803	100,00

Крупнейшим грантодателем является Япония, предоставившая в 2001 году средств в сумме более 25,9 млн. долл. США (т.е. почти 40% от общего объема грантов) на реализацию таких проектов, как "Оснащение центра экстренной медицинской помощи медицинским оборудованием", "Содействие в проведении научных исследований по увеличению производства сельскохозяйственной продукции", "Поддержка развития человеческих ресурсов", "Улучшение системы здравоохранения на территориях, пострадавших от засухи" и др. (таблица 3.2.1.).

Далее с примерно равными долями (около 7%) в общем объеме оказанного технического содействия в 2001 году следуют Институт Открытое Общество Фонд Содействия – Узбекистан (4,8 млн.долл.США), реализующий программы по развитию гражданского общества («Развитие экономики и бизнеса», «Медицина и здравоохранение» и др.), а также различные образовательные программы

Диаграмма 5 Десять крупнейших доноров по объемам предоставленной грантовой помощи в 2001 г.



Германское общество по техническому сотрудничеству (ГТЦ) по сумме предоставленных грантов в 2001 году - 3,25 млн. долл. США находится на пятой позиции с проектами "Ресурсосберегающее землепользование", "Содействие развитию экспорта", "Содействие в области первичной профессиональной подготовки" и "Поддержка создания учебного банка".

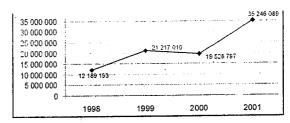
На ПРООН приходится 4,1% (2,7 млн. долл. США) от общей суммы грантов, предоставленных республике в 2001 году. При поддержке ПРООН осуществляются программы "Создание Нуратау-Кызылкумского биосферного заповедника в качестве модели сохранения биоразнообразия", "Охрана окружающей среды", "Содействие в целях развития", "Развитие устойчивых источников доходов", "Развитие человеческих ресурсов для перемен" и "Создание потенциала для устойчивого развития".

Грантовое содействие со стороны АБР в 2001 году составило 3,5% или 2,3 млн. долл. США. В рамках технической помощи АБР начал реализацию следующих проектов: "Содействие в разработке среднесрочной стратегии повышения жизненного уровня населения", "Содействие в создании потенциала для развития городского водоснабжения", "Поддержка институционального развития сельского хозяйства" и др.

Кроме того, по объему предоставленной технической помощи, в десятку крупнейших доноров вошли ЕС ТАСИС, МБРР, КАФЕ.

В 2001 году отмечается увеличение предоставляемой республике <u>гуманитарной помощи</u>. Как уже упоминалось выше, ее объем возрос за год в 1,8 раза и достиг 35,3 млн. долл. США.

График 1 Сравнительная характеристика поступившей гуманитарной помощи за 1998-2001 гг.



В социальной сфере здравоохранение является основным получателем гуманитарной помощи (диаграмма 6). В данный сектор в 2001 году было направлено гуманитарных грузов на сумму более 22,3 млн. долл. США, что в 1,6 раза больше, чем в 2000 году. На втором месте по объему полученной гуманитарной помощи находится сектор социального обеспечения (23,1%), на третьем — образования (12,8%).

Диаграмма 6 Объем гуманитарной помощи по отраслям социальной сферы за 2001 год



Таблица 3.2.2.

Общий объем гуманитарной помощи поступившей в 2001 г. от международных донорских организаций

і́г Донор і (с	Сумма в долларах США	в % от общего объёма
Каунтерпарт Интернэшнл (США)	8 361 682	23,72
Правительство Германии	3 319 407	9,42
Организация "От сердца к сердцу" (США)	3 213 500	9,12
Америкейрс (США)	2 610 000	7,41
Уорлд Консёрн (США)	2 596 951	7,37
Международный Комитет Красного Креста	2 192 299	6,22
ЮНИСЕФ	1 497 273	4,25
ЮНФПА	620 988	1,76
Всемирное Любавическое Движение (Израиль)	486 318	1,38
Ёнграг (США)	380 059	1,08
МАГАТЭ	335 560	0,95
ЮСАИД	311 144	0,88
ИООФС - Узбекистан	288 591	0,82

Отчет о сотрудничестве по развитию за 2001 год

Донор	Сумма в долларах США	в % от общего объёма
Северо-западная медицинская лига (США)	273 500	0,78
Госделартамент США	203 295	0,58
Врачи без границ	167 975	0,48
ПЕРДКА (США)	139 377	0,40
Другие ¹	8 248 170	23,40
итого:	35 246 089	100,00

Из общего объема гуманитарной помощи на долю международных неправительственных организаций приходится 45,7% (16,1 млн.долл.США) Распределение объемов поступившей в 2001 году гуманитарной помощи (таблица 3.2.2.).показывает, что 23,7% гуманитарных грузов приходится на Каунтерпарт Интернейшнл. На втором месте находится правительство Германии (9,4%) и на третьем - организация «От сердца к сердцу» (9,1%).

Среди других донорских организаций значительные объемы гуманитарных грузов были предоставлены Америкейрс, Уорлд Консёрн, Международным

Красным Крестом, организациями системы ООН (ЮНИСЕФ, ЮНФПА), а также ЮСАИД.

Гуманитарные грузы, главным образом, поставлялись в виде:

- медицинских товаров (включая медицинское оборудование и медицинские принадлежности, медикаменты и вакцины) 69,6%;
- продовольствия и одежды -14,7%;
- оборудования (компьютерное, лабораторное оборудование, полевые принадлежности и мебель) 9,5%;
- детских товаров (школьные принадлежности, детские подарочные наборы, книги) 5,2%.

3.3. Внешнее содействие (кредиты и гранты) в разрезе секторов экономики и регионов

В 2001 году транспортный сектор стал крупнейшим получателем внешней помощи — ее объем составил порядка 143 млн. долл. США или 36,2 % от общего объема внешнего содействия, увеличившись по сравнению с 2000 годом в 2,1 раза. Следует отметить, что крупнейшими донорами в транспортном

секторе были АБР и ЕБРР с проектами «Модернизация железных дорог» и «Обновление парка дизельных локомотивов ГАЖК "Узбекистон темир йуллари», т.е. самые крупные проекты 2001 года направлены на развитие инфраструктуры железнодорожного транспорта республики.

Таблица 3.3.1. Распределение внешнего содействия по секторам экономики за 2000 - 2001 годы

	200	11 r .	200	2000 г.	
Сектор экономики	Сумма (тыс.долл.США)	Доля в общем объеме (%)	Сумма (тыс:долл.США)	Доля в общем объеме (%)	
Транспорт	143 885	36,18	49 069	17,19	
Сельское хозяйство	85 079	21,39	6 325	2,22	
Социальный сектор	75 116	18,89	2 995	1,05	
Предприятия и Промышленность	53 867	13,54	21 421	7,50	
Здравоохранение	16 306	4,10	18 789	6,58	
Образование и наука	13 778	3,46	166 939	58,49	
Государственный сектор	5 025	1,26	3 421	1,20	
Окружающая среда	2 932	0,74	999	0,35	
Связь и пресса	873	0,22	3 447	1,21	

¹ Организации, предоставившие гуманитарную помощь в размере менее 100 тыс.долл. США, в частности, Германская агроакция, Фонд «Новая надежда», Фонд Евразия, КОИКА, Институт азиатской культуры и развития, Прожект Хоуп, Мерси Прожект, ВОЗ, Глобал Инвольмент, ЮНЕСКО, Безвозмездная помощь Центральной Азии, Ассоциация совместного развития и др.

10 m	2001 r.			
Сектор экономики	Сумма: (тыс.долл.США)	Доля в общем объеме (%)	Сумма (тыс.долл.США)	Доля в общем объеме (%)
Финансы	511	0,13	2 000	0,70
Природные ресурсы	177	0,045	0 -	0,00
Энергетика	163	0,041	0	0,00
Торговля и коммерция	18	0,004	10 029	3,51
NTOLO:	397/731	100,00	285 431	100,00

На втором месте по сумме полученного внешнего содействия (кредиты и гранты) в 2001 году — сектор сельского хозяйства, в который было направлено инвестиций на сумму более 85 млн. долл. США. Крупные проекты в данном секторе реализуются при поддержке АБР, направленные на развитие инфраструктуры, а также реструктуризированных хозяйств Акалтынского района, МБРР - на поддержку развития предпринимательства в сельской местности.

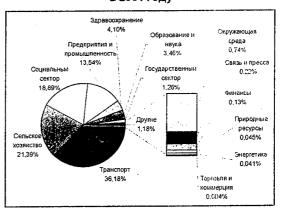
Социальный сектор (включая «жилье, социальное обеспечение и коммунальные услуги») по объему оказанного содействия в сумме более 75 млн. долл. США также входит в тройку крупнейших получателей внешнего содействия. Основными донорами в этом секторе были АБР, ЕБРР, а также правительство Китая.

В последние годы развитие малого и среднего предпринимательства являлось одним из приоритетов правительства, что сказалось и на увеличении количества проектов в этой сфере, реализуемых с участием кредитных и грантовых средств международных донорских организаций. Таким образом, сектор "Предприятия и промышленность", как и в предыдущие годы, является крупнейшим реципиентом, получившим в 2001 году сумму в размере 53,9 млн. долл.США.

Здравоохранение в 2000-2001 годах стабильно привлекало грантовые и кредитные средства, уделяя особое внимание вопросам репродуктивного здравоохранения, поддержки материнства и детства. Среди крупнейших проектов этого сектора следует отметить такие, как проект по оснащению медицинским оборудованием Центра экстренной медицинской помощи, проект по улучшению системы здравоохранения на территориях, пострадавших от засухи и маловодья, реализуемые при поддержке ДЖАЙКА, а также проект на развитие системы репродуктивного здравоохранения и лечение туберкулеза при поддержке Германского банка КфВ.

Общая сумма полученного технического и финансового содействия в сферу здравоохранения в 2001 году составила 16,3 млн.долл.США, а с учетом полученной гуманитарной помощи - более 38,6 млн. долл. США.

Диаграмма 8 Распределение внешнего содействия (кредитов и грантов) по секторам экономики в 2001 году



Несмотря на то, что сектор «Образование и наука» по объему полученных грантов и кредитов в 2001 году переместился с первого места на шестое, множество проектов в этой сфере реализуются в рамках Национальной программы по подготовке кадров. Всего за 2000-2001 годы на поддержку развития образования и науки привлечено 180,7 млн. долл. США, которые были предоставлены ЯБМС, АБР. Корейским фондом по сотрудничеству в экономическом развитии, ДЖАЙКА, а также ЮНИСЕФ. В секторе «Охрана окружающей среды» внешнее содействие оказывается в основном со стороны неправительственных организаций и направлено в регион Аральского моря, включая Республику Каракалпакстан и Хорезмскую область на ликвидацию последствий маловодья и засухи, а также сохранение биоразнообразия в этом регионе. Всего за 2000-2001 годы сумма грантового содействия в данный сектор составила 3,9 млн. долл. США. Основными донорами здесь являются ПРООН, ЮНЕП, а также МБРР.

Что касается распределения внешнего содействия по административным территориям, то следует отметить, что основная часть оказываемого содействия не концентрируется в одной определенной области республики, а

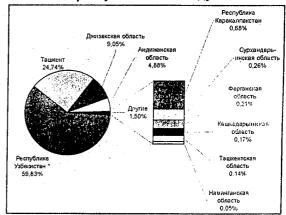
Отчет о сотрудничестве по развитию за 2001 год

распространяется на всю территорию Узбекистана (диаграмма 9). Если в 2000 году в проекты республиканского значения было привлечено 55,1% всего внешнего содействия, то в 2001 году - 59,8%.

Столица республики, город Ташкент, продолжает оставаться крупнейшим получателем внешнего содействия, объем которого в 2001 году составил сумму более 98,4 млн.долл.США.

Среди остальных областей республики по объемам выделенных средств на реализацию действующих проектов стали Джизакская и Андижанская области (диаграмма 9).

Диаграмма 9 Распределение внешнего содействия (кредитов и грантов) в разрезе областей республики в 2001 году



[•] Проекты, направленные на развитие нескольких областей или всей республики. Например, кредитные линии на поддержку развития предприятий МСБ, поддержка развития репродуктивного здравоохранения, содействие в закупке оборудования для общеобразовательных школ республики

③カザフスタン回答

Answers to the questionnaire

Name:

KALYMBETOV Zeinolla

Position:

Ministry of foreign affairs RK, Second Secretary

Adress:

473000, Kazakhstan, Astana city, Beibitshilik, 10

Tel:

+7(3172) 32-75-18

Fax:

+7(3172) 39-12-68

e-mail:

diec@mid.kz

- 1. The information about this course was presented by Mr. Yasuda and Y. Sogawa during the meeting at the MOFA RK, August 3, 2002.
- 2. Interview and recommendation. Candidates should be engaged in implementation of ODA programs in RK or to be scholars in this sphere.
- 3. 3 months.
- 4. (1) to make presentations
 - (2) to prepare official paper to the Japanese government's relevant offices/
- 5. Usually specialists on projects and officials responsible for international cooperation are engaged.
- 6. There is no fixed course or program for such purposes.
- 7. To arrange, establish an effective feedback with Japanese government.
- 8. We would like to have this course be given in English.
- 9. To make recommendations on Japanese ODA projects' implementation in RK.
- 10.In terms of international aid Japan is the largest donor-state.
- 11. High-tech sector development, industrial policy, small and medium sector, engineering.
- 12.Next 10 years of RK's economy development are aimed to intensive development of oil-gas sector and correspondent improvement of other industries (machinery, high-tech, nuclear, agriculture).
- 13. More than 80% of GDP is produced by private sector. Privatization mainly finished and nowadays population is perceived to be more active individually for the self-sufficiency.
- 14. To improve connection between central government reforms and ordinary people, to enhance state mechanism of budgeting.
- 15. Banking sector reform, monetary policy (today RK's banks are the best among Central Asian and most CIS countries' ones).
- 16.Development of oil and gas sector in which a share of imported products (machinery, spare parts) are still high. We need to use more domestic products.
- 17. Social sector seems to be more enhanced during socialism, because in free market system more individual approaches taken and the government is not so active for everyone.

- 18. Foreign capital lets to start new business without accumulating a lot of state resources. On the other hand the process of attracting and implementing of foreign capital should be always under improvement.
- 19. "Total quality control" system is quite interesting, government system of ODA holding.
- 20. We have learn about the rapid growth in 1990-1997 of ASEAN.
- 21. This region (50 mln people) has a very good perspectives to growth in terms of development of national industries. In this regard the information on Japanese experience on industrial development and modern (up to date) reforms in "new economy" sectors is very important for Kazakhstan.